

衆議院議員

兵庫県第六選挙区  
(伊丹市・宝塚市・川西市)

大串まさき

<http://www.m-ogushi.com/>

国政報告

- ✔ 末松信介文部科学大臣に聞く
- ✔ 成長と分配：新しい資本主義
- ✔ 国会報告：半導体不足と闘う

ゲンロック VOL. 29



## 大串まさき プロフィール

自由民主党 国会対策副委員長  
元 経済産業大臣政務官

- ▶ 昭和41年生まれ。報徳学園高卒(74回)。東北大学工学部卒(資源工学科)、同大学院修了(工学修士)。博士(知識科学)。
- ▶ IHI(工業炉設計部)、松下政経塾、大学准教授などを経て現職。現在4期目。
- ▶ 厚生労働・文部科学・経済産業など幅広い政策分野で活躍中。
- ▶ 専門：医療・福祉、教育政策など
- ▶ 家族：妻と二人暮らし(猫一匹)
- ▶ 趣味：釣り、絵画、多肉植物
- ▶ スポーツ：高校まで剣道一筋
- ▶ 好きな食べ物：カレー
- ▶ 座右の銘：威ありて猛からず

## お問い合わせ先

自民党への入党のご希望、国政報告会への参加希望など、お問い合わせは下記までお願い致します。

〒664 兵庫県伊丹市中央 1-2-6  
-0851 グランドハイツコーワ 2-12  
TEL:072-773-7601  
FAX:072-773-7602

✉ [info@m-ogushi.com](mailto:info@m-ogushi.com)



自由民主党 兵庫県第六選挙区支部  
ニューズレター

第29号(令和4年2月1日号)

頒布責任者：浅井勝弘  
伊丹市中央 1-2-6 グランドハイツコーワ 2-12

印刷者：(有)弘栄堂印刷所  
伊丹市中央 4-1-11

討議資料

## 末松信介文部科学大臣に聞く

兵庫県選出の末松信介参議院議員が、この度、文部科学大臣に就任されました。貴重な機会を頂きまして末松信介大臣にお話を伺いました。

文部科学行政は課題が山積。教育、科学技術、スポーツ、文化、芸術は、いずれも我が国の未来を切り開く重要な分野。様々な現場をよく見ながら、コロナ禍で子どもたちの学びが損なわれないよう、しっかりと取り組んでいきたいと意気込みを語ってくれました。

私も「学校耐震化・施設整備等促進議員連盟」の事務局次長を務めております。公立校については耐震化が一段落したものの、教室へのエアコンの設置やトイレの改修などに続き、建て替えが必要な校舎も多くなってきていると認識しています。グラウンド整備や体育館のエアコン設置など、地域スポーツ振興に関わる要望も多く、安定的な予算確保が必要と考えています。



この点に対して、末松大臣は子どもたちの生活の場である学校施設整備は非常に重要な課題と認識。来年度予算にも特別教室を含む校内に換気設備や冷房の導入を促す関連費を盛り込んだところで、今後も安定財源の確保に全力で取り組んでいくとのことでした。

また科学技術分野においても、末松大臣は、昨年11月に文部科学大臣として神戸市医療産業都市構想の中核的な研究施設であるクリエイティブラボ神戸を視察。その際、医療機器開発において日本企業が欧米勢より大きく遅れている原因として、医療機器等を開発する企業と医療現場とをつなぐ人材の不足

であるとのこと指摘を受けました。神戸大学では医工連携の人材を育成する大学院の専攻や学部の新学科を数年内に新設する予定で、文科省としても、こういった取り組みを後押しし、基礎研究力の向上と優れた研究者の確保に取り組んでいくとのことでした。

今夏の参議院通常選挙では4期目の挑戦となる末松信介大臣。「皆様からさまざまなご意見を頂き、引き続き国政の場で尽力してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願いたします！」というメッセージを頂きました。これからも力を合わせて頑張る参ります。



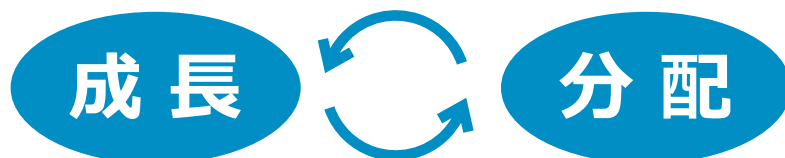
文部科学大臣

## 成長と分配：新しい資本主義

これまで、市場や競争に委ねる新自由主義の考え方が世界経済の原動力となってきましたが、近年、その弊害も顕著になってきています。市場に依存しすぎたことで**格差や貧困が拡大**したことや、自然に負荷をかけすぎたことで**気候変動問題が深刻化**したことはその一例と言えます。

そこで岸田政権では、これまで取り組んできたアベノミクスなどの成果の上に、市場や競争任せにせず、市場の失敗がもたらす外部不経済を是正する仕組みを、**成長戦略**と**分配戦略**の両面から、資本主義の中に埋め込み、資本主義がもたらす便益を最大化すべく、**新しい資本主義**を進めて参ります。世界的課題となっている分断や格差を乗り越える資本主義を我が国で実現します。

成長により、原資を稼ぎ出す（企業収益増、歳入増）  
ことで分配が可能に。



官民が協力し「成長」「分配」を実現

分配により、需要が増加（消費・投資）するとともに、  
成長力が強化されることで次なる成長へ

官と民が、共に役割を果たすことで、成長の果実をしっかりと分配し、消費を喚起することで、次の成長につなげます。また「人」が**価値の源泉**であり、「モノから人へ」という考えの下、賃上げもコストではなく**未来への投資**と捉えます。まさに分配戦略による人への投資こそが成長戦略であるとも言えます。これこそが、持続可能な経済、そして、**成長と分配の好循環**による新しい資本主義を実現するための要です。

## 地元活動：ミニ集会を開催

地元では国会での活動の報告と、皆さまのお声を聴かせていただくミニ集会を開催しています。「国政の課題について聞いてみたい」「地元の声を聴いて欲しい」「大串正樹と話してみたい」という方、5人ぐらいの少人数でも構いませんので、お気軽に、ご連絡をください。お話ししましょう。なお、国会日程や新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますので、事前にご相談ください。



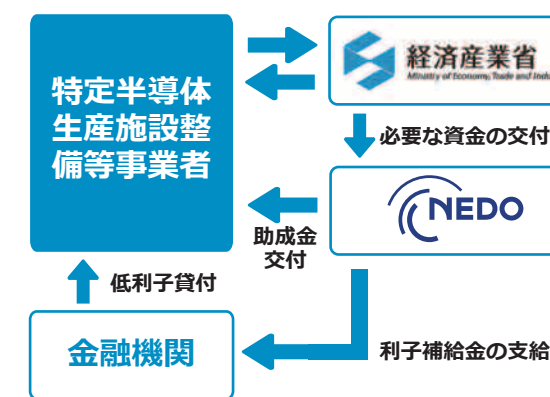
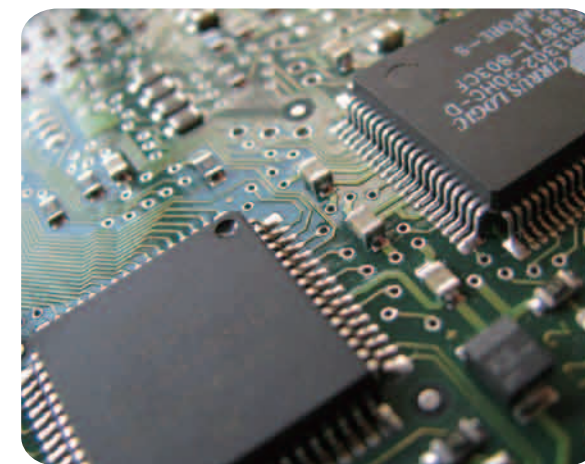
## 国会報告：半導体不足と闘う

先の臨時国会で「特定高度情報通信技術活用システムの開発供給及び導入の促進に関する法律及び国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構法の一部を改正する法律（**5G 促進法・NEDO 法**）」が成立しました。

デジタル化の進展で需要が高まる半導体ですが、昨今の**半導体不足**に見られるようなリスクも高まっています。高性能な半導体の生産能力の確保は、**産業基盤の強靱化、戦略的自律性・不可欠性の向上**の観点からも喫緊の課題となっています。我が国でも諸外国に匹敵する取組を早急に進めることが必要とされてきました。

本改正法により、高性能な半導体等の生産施設整備及び生産に関する**計画認定制度を創設**した上で、NEDOに新たに設置する基金から、計画の実施に**必要な資金の助成を措置**することで、事業者による生産施設整備への投資判断を後押しすることが可能となりました。

私は今期、**国会対策副委員長**として経済産業委員会を担当しております。法案の成立に向けて、国会での審議がスムーズに進むようにさまざまな調整をするのが仕事で、経済産業委員会での初仕事となりました。多々ある国会での仕事の中でも、もっとも重要な仕事のひとつです。引き続き、通常国会でも頑張っ参ります。



## 編集後記

通常国会がスタートしました。今期は国対で裏方の仕事ですが、いざ動き出すと政策立案に関する仕事にも多く関わることになりました。社会保障関連の政策は引き続いて取り組んでいますが、他にもソーシャルビジネス

支援の政策やデータヘルス改革、規制改革など、自ら主催する雇用政策勉強会も含めて、これまで以上に中心的な立場で頑張ります。四期十年目になりますが、知識も人脈も、これまでの経験が上手く繋がってきました。改めて初心に戻って頑張ります。